

# 建築文化週間2017

## ●建築夜楽校2017

### シンポジウム「建築と『穴』」

今年の建築夜楽校は、昨年の「『切断』の哲学と建築」における議論をもとに、より具体的なトピックとして「穴」を取り上げ、議論を行う。

建築家原広司氏の有孔体理論にあるように、建築において穴（または孔）とはもっとも基本的な存在である一方、計り知れない不気味さを併せ持つ点では、昨年の議論であるオブジェクト指向存在論（全てのオブジェクトは他からのアクセスから切断されていて、常にミステリアスなものとして退隠している）をより具体的な建築の議論へと発展させる糸口となるのではないか。

有孔体理論の発表からちょうど半世紀を経た今、建築における穴の存在論的可能性を多角的に討議する。

**日時**：10月13日（金）18:00～20:30（開場 17:30）

**会場**：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

**講演者**：原 広司（建築家、東京大学名誉教授）

江澤健一郎（フランス文学者、立教大学非常勤講師）ほか

**モデレーター**：

平野利樹（建築家、東京大学助教）

**対象**：どなたでもご参加ください。

**定員**：300名（申込先着順）

**参加費**：無料

**申込方法**：

日本建築学会ホームページ「[催し物・公募](#)」欄よりお申し込みください。

**動画配信**：

実施予定

## 建築文化週間2017の問合せ

日本建築学会 事務局 事業グループ 五領田

TEL：03-3456-2056 FAX：03-3456-2058 E-mail：[goryoda@aij.or.jp](mailto:goryoda@aij.or.jp)